

入札仕様書

1. 件 名 金沢市立病院駐車場管制システム賃貸借業務
2. 設置場所 石川県金沢市平和町3丁目7番3号
3. システム機器 駐車場管制機器 1式 別紙のとおり
4. 品名及び数量 駐車場管制機器（駐車料金精算システム等 1式）別紙のとおり
駐車場監視カメラ設備
駐車場内表示灯
5. 納 期 令和3年11月30日までに完了すること。
6. 物件の事前報告等
 - (1) 落札者（以下「賃貸人」）は契約締結後（入札にあたっては落札者の決定後）直ちに、金沢市立病院（以下「賃借人」）へ賃借人の指定した「機器仕様書」の内容を満たすことを確認できる書面等を提出すること。
7. 物件の検査及び引渡等
 - (1) 物件の引渡日は、令和3年12月1日とする。
 - (2) 賃貸人は、自らの責任において前項の物件の引渡日までにこれを設置し、賃借人が使用できる状態に調整（「機器仕様書」以外の機器の設置、調整を含む。）したのち、賃借人の指定する検査員の検査を受け、引き渡すものとする。

賃貸人は施設への物件の納入については、工事等の進行状況を鑑みて設置箇所担当者と協議を行うこととする。
 - (3) 賃貸人は物件の調整等を行う際には、設置箇所担当者と事前の打ち合わせを行い、設置箇所担当者の指示に従うこと。
 - (4) 第2項の検査の結果、賃借人が合格と認めないときは、賃貸人は賃借人の指定する期限内に物品の取り替え又は補正を行わなければならない。
 - (5) 賃貸人は、第1項の引渡の日までに、設置箇所担当者に物件の使用方法等の説明を行うこととし、また契約期間内においても、設置箇所担当者へ適切な指導を行うこととする。
8. 保守について

物件の保守について、賃貸人または物件の納入業者と別途保守契約を締結するものとする。
9. その他
 - (1) 搬入・据付・配管・配線・調整・基礎工事及び機器の撤去に要する全ての費用は、本工事に含まれる。
 - (2) 物件の賃貸借期間は、令和3年12月1日から令和10年11月30日までとする。

別表

1. 駐車場管制機器 設置場所及び台数

設置場所 石川県金沢市平和町3丁目7番3号他

防災センター

| | 品名 | 数量 | 備考 | 更新 | 既設流用 |
|---|------------|----|---|----|--------------|
| 1 | タッチパネル式監視盤 | 1台 | 防災センター設置 (既設筐体を利用のこと) (シーケンサーは既設流用) | ○ | シーケンサー 流用 |
| 2 | インターホン親機 | 1台 | 各機器との連絡用 | ○ | |
| 3 | 管理計算機 | 1台 | 防災センター設置(帳票:日報、 月報、年報を印刷できる事) プリンター含む | ○ | |
| 4 | 認証機 | 6台 | 各指定箇所に設置 | ○ | |

正面駐車場

| | 品名 | 数量 | 備考 | 更新 | 既設流用 |
|---|-------------|-----|---------------------|----|------|
| 1 | 発券機能付き集中精算機 | 1台 | | ○ | |
| 2 | ロック板 | 18台 | 各車室設置 | ○ | |
| 3 | インターホン子機 | 1台 | 各機器と防災センターとの連絡 用 | ○ | |
| 4 | 案内看板 | 1枚 | 精算機の操作方法案内 | ○ | |

第1駐車場

| | 品名 | 数量 | 備考 | 更新 | 既設流用 |
|---|---------------|-----|----------------------------------|----|------|
| 1 | 駐車券発行機 | 1台 | 入口設置 | ○ | |
| 2 | 全自動精算機 | 1台 | 出口設置 | ○ | |
| 3 | カーゲート | 2台 | 出入口設置 | ○ | |
| 4 | バーキャッチャー | 2台 | 出入口設置 | ○ | |
| 5 | インターホン子機 | 2台 | 各機器と防災センターとの連絡 用(発券機・精算機取り付け) | ○ | |
| 6 | 超音波在否感知器 | 18台 | | | ○ |
| 7 | 超音波在否感知器制御盤 | 1台 | | | ○ |
| 8 | 保護テント | 2台 | 出入口 | | ○ |
| 9 | 車両感知器(ループコイル) | 4本 | 出入口 | | ○ |

第2駐車場

| | 品名 | 数量 | 備考 | 更新 | 既設流用 |
|---|----------|----|-------|----|------|
| 1 | 駐車券発行機 | 1台 | 入口設置 | ○ | |
| 2 | 全自動精算機 | 1台 | 出口設置 | ○ | |
| 3 | カーゲート | 2台 | 出入口設置 | ○ | |
| 4 | バーキャッチャー | 2台 | 出入口設置 | ○ | |

| | | | | | |
|---|---------------|----|------------------------------|---|---|
| 5 | インターホン子機 | 2台 | 各機器と防災センターとの連絡用（発券機・精算機取り付け） | ○ | |
| 6 | 保護テント | 2台 | 出入口 | | ○ |
| 7 | 車両感知器（ループコイル） | 4本 | 出入口 | | ○ |

※ 本契約における設置物の機器撤去・処分、配管、配線、基礎工事は全て本工事に含む。

※ 既設流用とした機器等は更新可とする。

※ 精算機は新硬貨（500円）と旧硬貨が使用できるものとする。

※ 2024年の新紙幣もユニット交換で対応可能できるものとする。

（紙幣用リーダー及びソフトウェア費用は別途）

2. 駐車場監視カメラ設備 設置場所及び台数

| | 品名 | 数量 | 備考 | 更新 | 既設流用 |
|---|-------------|----|-------------|----|------|
| 1 | ドーム型カメラ | 2台 | 屋内カメラ(①⑦) | ○ | |
| 2 | 固定カメラ | 4台 | カメラ(④⑤⑥⑧) | ○ | |
| 3 | PTZ屋外カメラ | 4台 | 屋外カメラ(②③⑨⑩) | ○ | |
| 4 | カメラ駆動ユニット | 1台 | 8台用 | ○ | |
| 5 | レコーダー | 1台 | 4TB | ○ | |
| 6 | ワイド液晶ディスプレイ | 1台 | 31.5型 | | ○ |
| 7 | ワイド液晶ディスプレイ | 1台 | 21.5型 | | ○ |
| 8 | 操作用パソコン | 1台 | | 新設 | |
| 9 | ケーブル | 1式 | | | ○ |

※ 既設流用とした機器等は更新可とする。

3. 駐車場内表示灯 設置場所及び台数

| | 品名 | 数量 | 備考 | 更新 | 既設流用 |
|---|------------|----|--------------|----|------|
| 1 | 駐車場内誘導満車灯 | 1台 | S7 片面表示 吊下型 | ○ | |
| 2 | 合流注意灯 | 1台 | OS2 片面表示 突出型 | ○ | |
| 3 | 第1駐車場出庫警告灯 | 1台 | S4 両面表示 自立型 | ○ | |
| 4 | 第2駐車場出庫警告灯 | 1台 | S11 両面表示 自立型 | ○ | |

※ 基礎については、既設流用とする。

機器仕様書

本仕様書は、駐車場管制装置の標準仕様を示し、機器の寸法、外観等については、製造メーカーの標準仕様により多少の差異は認めるものとするが、システム仕様については機能、性能を確保できること。

1. 駐車場管制機器

使用する駐車料金システムの条件

(1) 運用上の仕様

a. システムの概要

利用者は入庫時に駐車券を駐車券発行機より受け取り、出庫時に集中精算機及び出口の全自動精算機で所定の料金の精算を行う。当駐車場利用者は認証割引の利用を可能とする。全体の在車台数は監視盤で集計され、出庫の際は出庫警報灯により注意を促すものとする。

定期券利用者は定期券により入出庫可能とする。定期券は第1・第2駐車場のみ利用可能とする。

(2) 設置機器の仕様

a. 駐車券発行機 2台（第1駐車場、第2駐車場）

1. 機能

- 1-1 駐車場入口に設置し利用者に対し駐車券を発行する。感知器が車両を感知（現状は、車路に埋設されたループコイル）した状態で、自動または押しボタン操作により駐車券が発行されること。
- 1-2 駐車券発行時、内蔵された音声合成装置により操作を促す案内放送（満車時は満車案内放送）を行う。また案内放送は駐車券抜き取りまたは、設定回数終了後に自動的に停止すること。
- 1-3 駐車券は耐水型サーマル駐車券を使用し、端末番号・発券連番・入庫月日時分が印字されること。また、駐車券デザインは正面駐車場・第1駐車場・第2駐車場共通デザインとし、駐車券発券時にそれぞれの駐車場名を印字し発券すること。
(駐車券は各駐車場の色を変えること 現在、正面駐車場:ピンク 第1駐車場:緑 第2駐車場:白)
- 1-4 発行された駐車券を抜き取るとカーゲートと連動しゲートバーが自動に開く。(車両がゲートバー閉用ループコイル通過後ゲートバーが自動に閉まる。)
- 1-5 車両が入庫すると入庫台数カウントを行い、入庫信号を出力する。カーゲートと連動し、駐車場入口の無人制御を行うこと。
- 1-6 駐車券発行後、券を抜き取らずに車両が後退した場合は、発行された駐車券を本体内に取込むこと。(廃券処理)
- 1-7 定期券を読み込み使用でき入庫することが可能であること。
- 1-8 駐車券は2箱以上収納でき、1箱目が終了したら自動的に2箱目が自動充填され、その時点で券切れ信号を出力し防災センターに表示できる。駐車券は交換が容易な箱詰めタイプとする。
- 1-9 係員呼び出し装置を備え防災センター内のインターホンと通話が可能であること。
- 1-10 異常発生の際は、警告音と異常灯で個所の認識が可能であることと、防災センターと連動が可能であること。
- 1-11 将来、電子マネー等の機器が接続可能なこと。

2. 定格

- 2-1 電 源 AC100V±10% 50/60Hz (D種接地)
- 2-2 消 費 電 力 最大：200VA以下程度 待機時：120 VA以下程度
- 2-3 質 量 90 kg以下
- 2-4 塗 装 色 メーカー標準色（焼付塗装）または、指定色に変更できること
（指定色に変更する場合費用は別途とする）
- 2-5 材 質 金属製の堅牢なもの（鋼板製等）
- 2-6 形 状 自立型 防雨構造以上
- 2-7 時 計 方 式 水晶発振方式 週差±3秒以内（20℃～30℃以内）
- 2-8 メモリー補償 時計データ及び設定データの記憶を停電時から復旧時まで
バックアップできること
- 2-9 使用周囲温湿度 -10℃～40℃ 10%～90%RH（結露なき事）
- 2-10 据 付 4-M12以上のアンカーボルトによる底面を固定
- 2-11 そ の 他 防災センターと連絡用インターホン子機付

3. 仕様

- 3-1 発 券 方 式 自動又は押ボタン（設定により二者択一）
- 3-2 駐 車 券 耐水型サーマル紙
約6,000枚（3,000枚×2箱）以上収納可能
- 3-3 定 期 券 PETカード
- 3-4 印 字 内 容 端末番号・発券連番・入庫月日時分
- 3-5 印 字 機 構 サーマルプリンター
（インクリボンカセット等は必要としない）
- 3-6 廃 券 処 理 自動的に本体内部に収納
回収BOX収納枚数約300枚以上
- 3-7 警 報 出 力 信 号 通信もしくは無電圧接点
駐車券切れ（2箱のどちらかがなくなった場合に出力）
- 3-8 そ の 他 手順案内音声装置内蔵、連絡用インターホン子機取付

b. 全自動精算機(第1駐車場、第2駐車場) 出口2台

1. 機能

- 1-1 駐車場出口に設置し、駐車券の挿入と同時に音声で駐車料金の案内を行うこと。
- 1-2 精算時、内蔵された音声合成装置により操作を促す案内放送を行うこと。
（案内放送の音量、放送回数など調整できること）
- 1-3 利用者は精算機の駐車券挿入口に駐車券を挿し込むと、駐車券及びサービス券（磁気式）の媒体を読み込み、駐車料金を算出し表示すること。料金の支払いは10円以上の各種硬貨または紙幣（千円札）で精算できること。その他、サービス券、プリペイドカードで精算可能なこと。新硬貨、旧硬貨（500円が使用可能であること）
- 1-4 領収書は適宜取り出せること。出庫完了までに該当釦を押すことにより領収書を発行すること。

- 1-5 精算が完了すると、駐車券に精算時刻の印字を行い、回収する。
- 1-6 硬貨釣銭機能については、自動循環方式とする。(コインメック方式)
- 1-7 精算記録及び集計記録は、SDカードに記録すること。(パソコンで閲覧可能)
- 1-8 硬貨投入口は複数枚投入が可能なタイプとする。
- 1-9 料金など表示する画面はカラー液晶とする。
- 1-10 釣り銭の補充は短時間で行えることとし、硬貨は一度に100枚、投入が可能のこと。
- 1-11 集計記録内容は、総売上金額、総割引金額、総取扱件数、区分別売上金、区分別割引金額、区分別取扱件数、サービス券等使用枚数など。各集計内容は小計、合計操作により出力印字する。
- 1-12 釣り銭切れ、領収用紙切れ、故障、警報、扉開など異常発生の際は操作パネルで異常個所の認識が可能であること。
- 1-13 将来、高額紙幣(10,000円、5,000円紙幣)の利用が可能な機器を選定すること
(高額紙幣用リーダー及びソフトウェア費用は別途)
(2024年新紙幣が発行された場合、ユニット交換にて対応可能であること。費用は別途)
- 1-14 第1駐車場、第2駐車場の扉開閉用の鍵番号は同じにすること。

2. 定格

- 2-1 電 源 AC100V±10% 50/60Hz (D種接地)
- 2-2 消 費 電 力 最大：530VA以下程度(ヒーターon時) 待機時：210VA以下程度
- 2-3 質 量 250kg以下程度
- 2-4 塗 装 色 メーカー標準色 または指定色に変更できること
(指定色に変更する場合費用は別途とする)
- 2-5 材 質 金属製の堅牢なもの(鋼板製等)
- 2-6 形 状 自立型 防雨構造以上
- 2-7 時 計 方 式 水晶発振方式 週差±3秒以内(20℃~30℃以内)
- 2-8 メモリー補償 時計データ及び設定データの記憶を停電時から復旧時まで
バックアップできること
- 2-9 使用周囲温湿度 -10℃~40℃ 10%~90%RH(結露なき事)
- 2-10 据 付 4-M12以上のアンカーボルトによる底面を固定

3. 仕様

- 3-1 カード読取方式 耐水型サーマル紙
長手2方向読取
- 3-2 案内表示 『料金表示 駐車料金』
カラー液晶表示
- 3-3 操作ボタン 取り消し釦、領収書発行釦
- 3-4 演算機能
 - 3-4-1 計算日数 12ヶ月
 - 3-4-2 計算単位時間 1分単位 最大99時間59分
 - 3-4-3 計算単位料金 10円単位 最大99,990円
 - 3-4-4 車種区分 16種以上
 - 3-4-5 料金体系 16体系以上
 - 3-4-6 料金帯区分 最大16区分以上

- 3-4-7 前サービス時間 0～60分 1分単位
- 3-4-8 後サービス時間 0～60分 1分単位
- 3-4-9 規定時間 0～120分 1分単位
- 3-4-10 最大料金の設定 12・24時間、最大または0時切り替え設定可能
- 3-4-11 駐車券紛失料金 固定料金または指定時刻料金の二者択一
固定料金：10円単位 999,990円まで任意に設定可能
- 3-5 領収書発行 精算完了後車両通過によるゲート閉動作まで領収書釦を押すと発行
- 3-6 精算取消 料金投入の途中で取消釦を押すと、投入金額を返却
(サービス券等を投入している場合は、駐車券に割引内容を記録して駐車券のみ返却)
- 3-7 使用貨幣 10・50・100・500円硬貨及び千円紙幣
投入口の硬貨は複数枚挿入可能
新硬貨、旧硬貨(500円が使用可能であること)
- 3-8 釣銭装置
 - 3-8-1 10円・50円・100円・500円硬貨、自動循環式(ホッパー方式)
 - 3-8-2 ホッパー容量10円、50円、100円、各硬貨最大400枚 500円硬貨最大200枚
- 3-9 金庫収納方式 硬貨：鍵型ボックス(最大2000枚)
紙幣：紙幣リーダーの金庫に収納(最大500枚)
- 3-10 集計項目
 - 3-10-1 売上集計
総現金売上額、総掛売額、総売上額、総精算回数、使用回数・金額、
認証サービス種別利用件数等
 - 3-10-2 駐車分類集計
 - ① 駐車時間別台数集計
 - ② 精算時刻別精算台数集計
- 3-11 定期券 PETカード
- 3-12 プリペイドカード 設定金額 打ち合わせにより決定
(使用毎に残り金額を印字し返却)
※ サービス券との併用運用は可
- 3-13 サービス券 32種程度
- 3-14 認証券 32種程度
- 3-15 外部出力信号 ゲート開・ゲート閉(カーゲート連動時には必須)
精算完了、釣銭切れ・予告、レシート切れ、扉開他
- 3-16 外部入力信号 ゲート閉位置(カーゲート連動時には必須) 他
- 3-17 その他
 - ・手順案内音声装置内蔵
 - ・特別日(年間28日)と特別期間が設定可能。ハッピーマンデー、
春分・秋分の日対応

C. カーゲート 4台 (第1駐車場、第2駐車場)

1 機能

- 1-1 駐車場出入口に設置し、入出庫車両の通行の規制を行う。
止まれ・一時停止・等事故防止が喚起でき周知できる幕が取付けてあること。
- 1-2 カーゲートは出口と入口にそれぞれに設置すること。
- 1-3 ゲートバーの落下途中にバー下を人物が横切った場合障害物センサーが検知しゲートバーのオートリバース機能があること。
- 1-4 内部のスイッチ操作によりゲートバーを開閉させることができること。
- 1-5 停電時などは、手動開閉ハンドルの操作によりゲートバーを開閉させることができること。

2 定格

- 2-1 電 源 AC100V±10% 50/60Hz (D種接地)
- 2-2 消 費 電 力 最大：200VA以下程度 待機時：30 VA以下
- 2-3 質 量 約 70 kg (ゲートバーを除く)
- 2-4 塗 装 色 メーカー標準色 または、指定色に変更できること
(指定色に変更する場合費用は別途とする)
- 2-5 材 質 外装ケース：金属製の堅牢なもの(鋼板製等)
ゲートバー：グラスファイバーまたはアルミバー選択可能であること
- 2-6 形 状 自立型 防雨構造以上
- 2-7 使用周囲温湿度 -10℃～40℃ 10%～90%RH (結露なき事)
- 2-8 据 付 4-M12のアンカーボルトにより底面を固定

3 仕様

- 3-1 ゲートバー 形 状：ストレートバー式
外 観 色 調：メーカー標準色
有 効 長 さ：3.8m程度
- 3-2 バ ー 動 作 開閉速度：2.5秒以下
上昇角度：90度
- 3-3 外部出力信号 無電圧接点
入出場警報 (最大99秒設定可能)
(バー開時ON、閉後タイマー経過によりOFF)
ゲート閉状態信号
- 3-4 そ の 他 バー降下時用セーフティセンサー付
(センサー検知により、バーをオートリバース)

d. バーキャッチャー 4台 (第1駐車場、第2駐車場)

カーゲート用バー受けを行うこと (ロック機構無し)

1 仕様

- 1-1 質 量 約 9 kg
- 1-2 塗 装 色 メーカー標準色 (焼付塗装) または指定色に変更できること
(指定色に変更する場合費用は別途とする)
- 1-3 材 質 金属製の堅牢なもの(鋼板製等)

1-4 形 状 自立型

e. 車両感知器(現状ループコイル 8本(第1駐車場、第2駐車場))

基本は現状の物を流用とするが、できない場合は本工事に含むこと。(車両感知方式の変更も可能とする。変更する場合は協議をすること。)

モルタル仕上げ、アスファルト仕上げ双方に対応可能なこと。

1 機能

- 1-1 車路に埋設し、ループコイル車両感知器と接続して車両検知を行う。
- 1-2 ループコイル車両感知器により一定の高周波信号電流をながし、インピーダンスの変化を感知機内のCPUで演算処理し、車両の接近を検出する。

2 仕様

- 2-1 材 質 車両用 600v 架橋ポリエチレン電線
- 2-2 タ ー ン 数 4ターン～6ターン
- 2-3 埋 設 条 件
 - ①ループコイルと配筋の間は10～50mm程度以上とし、絶縁物で距離を保ち、移動しないように固定する。
 - ②鉄骨(Iビーム、Hビーム等)とループコイルの間は、両方向に対して500mm程度以上離すこと。
 - ③ループコイルの下に配筋、メッシュ、デッキプレート等がある場合は、ループコイルを6巻とする。

f. 発券機能付き集中精算機 1台(正面駐車場)

1. 機能

- 1-1 正面駐車場に設置し、駐車券の発券及び駐車券挿入による駐車料金の精算を行うこと。
- 1-2 正面駐車場の利用者に対し車室番号入力したときに駐車券を発行する。
ロック板センサーが車両を検知した状態で、手動押しボタン操作により駐車券が発行されること。
- 1-3 駐車券は耐水型サーマル駐車券を使用し、端末番号・発券連番・車室番号・入庫月日時分が印字されること。
- 1-4 車両が入庫すると入庫台数カウントを行い、入庫信号を出力する。ロック板と連動し、駐車場入口の無人制御を行うこと。
- 1-5 駐車券は2箱以上収納でき、1箱目が終了したら自動的に2箱目が自動充填されること。
- 1-6 内蔵された音声合成装置により操作を促す案内放送を行うこと。
- 1-7 利用者は精算機の駐車券挿入口に駐車券を挿し込むと、駐車券及びサービス券(磁気式)の媒体を読み込み駐車料金を算出し表示すること。料金の支払いは10円以上の各種硬貨または紙幣(千円札)で精算できること。その他、プリペイドカードで精算可能なこと。
- 1-8 領収書は適宜取り出せること。(タイマー制御)
- 1-9 精算が完了すると、駐車券に精算時刻の印字を行い、回収する。
- 1-10 硬貨釣銭機能については、自動循環式とする。(コインメック方式)
- 1-11 精算記録及び集計記録は、SDカードに記録すること。(パソコンで閲覧可能)
- 1-12 集計記録内容は、総売上金額、総割引金額、総取扱件数、区分別売上金、区分別割引金額、区分別取扱件数、サービス券等使用枚数など。各集計内容は小計、合計操作により出力印字する。

- 1-13 釣銭切れ、領収用紙切れ、故障、警報、扉開など異常発生の際は操作パネルで異常個所の認識が可能であること。
- 1-14 2024年新紙幣が発行された場合ユニット交換にて対応可能であること。費用は別途とする。

2. 定格

- 2-1 電 源 AC100V±10% 50/60Hz (D種接地)
- 2-2 消 費 電 力 最大：330VA以下程度 待機時：220 VA以下程度
- 2-3 質 量 約 200 kg
- 2-4 塗 装 色 メーカー標準色（焼付塗装）または、指定色に変更できること
（指定色に変更する場合費用は別途とする）
- 2-5 材 質 外装ケース：金属製の堅牢なもの（鋼板製等）
- 2-6 形 状 自立型 防雨構造以上
- 2-7 時 計 方 式 水晶発振方式 週差±3秒以内（20℃～30℃以内）
- 2-8 メモリー補償 時計データ及び設定データの記憶を停電時から復旧時まで
バックアップできること
- 2-9 使用周囲温湿度 -10℃～40℃ 10%～90%RH（結露なき事）
- 2-10 据 付 4-M12以上のアンカーボルトによる底面を固定
- 2-11 そ の 他 防災センターと連絡用インターホン子機付

3. 仕様

- 3-1 発 券 方 式 押ボタン
- 3-2 駐 車 券 耐水型サーマル紙
約 6,000 枚（3,000 枚×2箱）以上収納可能
- 3-3 定 期 券 PET カード
- 3-4 印 字 内 容 端末番号・発券連番・入場月日時分
- 3-5 印 字 機 構 サーマルプリンター
（インクリボンカセット等は必要としない）
- 3-6 発 行 速 度 メーカー標準または指定速度に変更できる事。
- 3-7 廃 券 処 理 自動的に本体内部に収納
回収 BOX 収納枚数約 300 枚以上
- 3-8 警 報 出 力 信 号 通信もしくは無電圧接点
駐車券切れ（2箱のどちらかがなくなった場合に出力）
- 3-9 そ の 他 手順案内音声装置内蔵
- 3-10 操 作 ボ タ ン 取り消し釦、領収書発行釦
- 3-11 演 算 機 能
 - 3-11-1 計 算 日 数 12ヶ月
 - 3-11-2 計 算 単 位 時 間 1分単位 最大 99 時間 59 分
 - 3-11-3 計 算 単 位 料 金 10 円単位 最大 99,990 円
 - 3-11-4 車 種 区 分 16 種以上
 - 3-11-5 料 金 体 系 16 体系以上
 - 3-11-6 料 金 帯 区 分 最大 16 区分以上
 - 3-11-7 前サービス時間 0～60分 1分単位

- 3-11-8 後サービス時間 0～60分 1分単位
- 3-11-9 規定時間 0～120分 1分単位
- 3-11-10 最大料金の設定 12・24時間、最大または0時切り替え設定可能
- 3-12 領収書発行 精算完了後1～120秒の設定時間内に領収書釦を押すと発行
- 3-13 精算取消 料金投入の途中で取消釦を押すと、投入金額を返却
(サービス券等を投入している場合は、駐車券に割引内容を記録して駐車券のみ返却)
- 3-14 使用貨幣 10・50・100・500円硬貨及び千円紙幣
新硬貨、旧硬貨(500円が使用可能であること)
- 3-15 釣銭装置
 - 3-15-1 10円循環筒約92枚
 - 3-15-2 50円循環筒約82枚
 - 3-15-3 100円循環筒約80枚、サブ(予備)として、100円サブ筒約87枚
 - 3-15-4 500円循環筒約70枚
- 3-16 金庫収納方式 硬貨：鍵型ボックス(硬貨約1000枚)
紙幣：紙幣リーダーのスタッカーに整列収納(約430枚：新札官封券)
- 3-17 集計項目
 - 3-17-1 売上集計
総現金売上額、総掛売額、総売上額、総精算回数、使用回数・金額、認証サービス種別利用件数等
 - 3-17-2 駐車分類集計
 - ①駐車時間別台数集計
 - ②精算時刻別精算台数集計
- 3-18 サービス券 32種程度
- 3-19 認証券 32種程度
- 3-20 外部出力信号 ロック板上昇・ロック板下降
精算完了、釣銭切れ、レシート切れ、扉開他
- 3-21 その他
 - ・手順案内音声装置内蔵
 - ・特別日(年間28日)と特別期間が設定可能。ハッピーマンデー、春分・秋分の日対応

g. ロック板 18台(正面駐車場)

1. 機能

- 1-1 電磁式センサーが車両を感知し、発券機能付き集中精算機に在車情報を送信し、集中精算機からの指示によりロック板が上昇すること。
(ループコイルは不具合発生時に再埋設などの工事が発生するため採用しない)
- 1-2 集中精算機にて駐車券を挿入し料金を精算完了後、ロック板が下降すること
- 1-3 集中精算機より手動操作でロック板が制御(上昇・下降)できること

2. 定格

- 2-1 電 源 DC24V±10%
- 2-2 消費電流 最大：2.5A以下程度

- 2-3 外 観 色 調 メーカー標準色
- 2-4 材 質 外装上ケース：金属製の堅牢なもの（鋼板製等）
- 2-5 形 状 屋外据置型
- 2-6 使用周囲温湿度 -10～40℃ 0%～90%（結露なき事）
- 3 仕様
 - 3-1 最大ロック高さ 約196mm
 - 3-2 最小ロック高さ 約 95mm
 - 3-3 上昇動作駆動 トーションスプリング反発力
 - 3-4 下降動作駆動 DCモーター
 - 3-5 不正駐車検出 ロック板上昇時の不正駐車検出出力（ロック板異常）

h. 認証機 6台

- 1 機能
 - 1-1 駐車券への割引処理（4分類コード書込み）を行う。
 - 1-2 割引処理は駐車券を差し込むことにより自動的に行う。
 - 1-3 認証機毎に端末番号を駐車券に書込を行うものとし、
認証機毎に認証回数など精算機・管理計算機で集計が可能なものとする。
 - 1-4 院内各所に持ち運び可能な程度の大きさ、重量であること。
- 2 定格
 - 2-1 電 源 AC100V±10%
 - 2-2 消費電力 最大：80W以下程度
 - 2-3 外 観 色 調 メーカー標準色
 - 2-4 形 状 屋内卓上据置型
 - 2-5 使用周囲温湿度 5～40℃ 20%～80%（結露なき事）
- 3 仕様
 - 3-1 挿入方向 1方向
 - 3-2 処理時間 3秒以下（券を挿入してから戻るまで）
 - 3-3 案内表示 液晶パネル表示
 - 3-4 認証モード 単一認証、単一上書き認証、多重認証（いずれか1モード）

i. タッチパネル式監視盤 1台

監視盤内部シーケンサーは既設流用とする。

- 1 機能
 - 1-1 駐車場管制機器より、車両の入庫・出庫カウント信号を受信し各駐車場の入庫総数、出庫総数及び現在台数を表示できること。
 - 1-2 設定された満車台数に現在数が達すると満車判定を行い、満車信号を出力できること。
 - 1-3 各出入口機器からのアラーム信号を受信し、警報内容のモニター表示を行うこと。
 - 1-4 時刻修正機能により、発券機・精算機も一括で修正可能のこと。
 - 1-5 各ゲートの開閉動作が遠隔で操作できること。

2 定格

- 2-1 電 源 AC100V±10% 50/60Hz (D種接地)
- 2-2 消 費 電 力 100W 以下程度 (外部供給電源は除く)
- 2-3 使用周囲温湿度 0℃～+40℃ 10%～85%RH (結露なき事)
- 2-4 据 付 既設監視盤に組み込み

3 仕様

- 3-1 台数表示方式 カラー液晶タッチパネル
- 3-2 台数表示項目 入庫総数・出庫総数表示 (4桁) 及び現在数表示 (3桁)
各駐車場の入庫台数・出庫台数・在庫台数
- 3-3 設 定 方 法 タッチパネル操作による設定画面指定方式
(台数修正、満車数設定テンキー入力方式)
- 3-4 満 車 制 御 タッチパネル操作による自動/手動モード切換方式
(駐車券の発券停止ができること)
- 3-5 アラームモニター 各管制機器よりアラーム信号受信、該当画面アラーム内容表示及び
ブザー作動 (ブザーリセット操作にて停止)
- 3-6 警 報 表 示 各種警報の表示を行う

i. 管理計算機 1台

1 機能

- 1-1 発券機・精算機と連動し、売上・帳票などの集中管理がおこなえること。
- 1-2 集計機能により、売上げ金額の日報・月報・年報の各種帳票が作成・印刷を行えること。

2 定格

- 2-1 電 源 AC100V±10%
- 2-2 消 費 電 力 最大 1000W 以下 (外部供給電源は除く)
- 2-3 P C 本 体 ノート型 P C (Windows10)
- 2-4 プ リ ン タ レーザープリンタ A4 対応
- 2-5 据 付 P C 本体は既設監視盤に組み込み

3 PC仕様

- 3-1 O S Microsoft Windows 10 最新版
- 3-2 C P U Intel Core i3-1115G4 以上
- 3-3 R A M 8GB 以上
- 3-4 ス ト レ ー ジ 256GB 以上

2. 駐車場監視カメラ設備

現在各カメラに同軸ケーブルにて 12V 給電している。100V 電源の必要があれば配線工事を行うこと。

a. ドーム型カメラ 2台 (カメラ①⑦)

1 定格

- 1-1 有 効 画 素 数 約 200 万画素 1920(水平)×1080(垂直)

- 1-2 最低被写体照度 0.001lx
- 1-3 デイナイト オート/カラー/白黒
- 1-4 画 角 水平:90° ~26° 垂直:59° ~15°
- 1-5 消費電力 最大:1.6W 以下程度
- 1-6 使用温度範囲 -10°C~50°C

b. 固定カメラ 4台 (カメラ④⑤⑥⑧)

2 定格

- 2-1 有効画素数 約200万画素 1920(水平)×1080(垂直)
- 2-2 最低被写体照度 0.001lx
- 2-3 デイナイト 赤外線同調/カラー/白黒
- 2-4 画 角 水平:90° ~26° 垂直:59° ~15°
- 2-5 消費電力 最大:6.5W 以下程度
- 2-6 使用温度範囲 -10°C~50°C

c. PTZ屋外カメラ 4台 (カメラ②③⑨⑩)

3 定格

- 3-1 有効画素数 約200万画素 1920(水平)×1080(垂直)
- 3-2 最低被写体照度 カラー:0.35lx B/W:0.013lx
- 3-3 デイナイト あり(Low/Mid/High)
- 3-4 水平回転範囲 360° エンドレス旋回
- 3-5 垂直回転範囲 -10° ~190°
- 3-6 ズーム比 光学30倍
- 3-7 消費電力 12W程度/ヒーター使用時50W程度
- 3-8 使用温度範囲 -10°C~40°C

d. カメラ駆動ユニット 1台

4 定格

- 4-1 入力端子数 8ch(BNC)
- 4-2 入力信号 HD-TVI/AHD/NTSC
- 4-3 出力信号 HD-TVI/AHD/NTSC
- 4-4 定格電圧 AC100V 50/60Hz
- 4-5 使用温度範囲 -10°C~50°C
- 4-6 消費電力 80W程度

e. レコーダー 1台

5 定格

- 5-1 映像入出力 入力:16CH、コンポジットビデオ
- 5-2 記録容量 4TB以上
- 5-3 モニター出力 HDMI:1出力以上
- 5-4 映像圧縮方式 H.264
- 5-5 使用温度範囲 0°C~40°C
- 5-6 消費電力 最大:76W 以下程度

f. 操作用パソコン 1台

6 定格

- 6-1 O S Microsoft Windows 10 最新版
- 6-2 C P U IntelCorei5-3570K 以上の性能を有すること。
- 6-3 R A M 4GB 以上
- 6-4 ス ト レ ー ジ 128GB 以上
- 6-5 筐 体 設置スペースが狭いため、小型のものを入れること。

3. 駐車場内表示灯

a. 第1駐車場 駐車場内誘導満車灯 1台 (S7)

1. 機能

- 1-1 第1駐車場入口通過地点の三叉路に場内の満空情報を表示する。

2. 定格

- 2-1 電 源 AC100V±10% 50/60Hz (D種接地)
- 2-2 消 費 電 力 最大：10W 以下程度
- 2-3 表 示 L E D LED160□ 満：赤 空：緑
- 2-4 質 量 約 40 kg
- 2-5 塗 装 色 コーヒーブラウン(マンセル5 YR2/1.5 又は類似色)
- 2-6 材 質 外装ケース：メーカー標準 (鋼板製等)
- 2-7 形 状 屋外吊下型 (防滴構造以上)

b. 第1駐車場 合流注意灯 1台 (OS2)

3. 機能

- 3-1 第1駐車場入口通過地点の三叉路手前に事故の無いように注意を促すこと。

4. 定格

- 4-1 電 源 AC100V±10% 50/60Hz (D種接地)
- 4-2 消 費 電 力 最大：20W 以下程度
- 4-3 回 転 灯 黄色
- 4-4 表 示 部 合流注意：赤文字フリッカー (点滅表示) 回転灯と連動
- 4-5 質 量 約 20 kg
- 4-6 塗 装 色 コーヒーブラウン(マンセル5 YR2/1.5 又は類似色)
- 4-7 材 質 外装ケース：メーカー標準 (鋼板製等)
- 4-8 形 状 屋外壁面 (防滴構造以上)

c. 第1駐車場出庫警告灯 1台 (S4)

5. 機能

- 5-1 第1駐車場出口に車両が出庫することを歩行者、車両に事故の無いように注意喚起を促す。

6. 定格

- 6-1 電 源 AC100V±10% 50/60Hz (D種接地)
- 6-2 消 費 電 力 最大：40W 以下程度
- 6-3 質 量 約 130 kg
- 6-4 塗 装 色 コーヒーブラウン(マンセル5 YR2/1.5 又は類似色)

- 6-5 材質 外装ケース：メーカー標準（鋼板製等）
- 6-6 形状 屋外ポール自立型（防滴構造以上）

c. 第2駐車場出庫警告灯 1台 (S11)

7. 機能

- 7-1 第2駐車場出口に車両が出庫することを歩行者、車両に事故の無いように注意喚起を促す。

8. 定格

- 8-1 電源 AC100V±10% 50/60Hz（D種接地）
- 8-2 消費電力 最大：20W以下程度
- 8-3 質量 約70kg
- 8-4 塗装色 コーヒーブラウン（マンセル5 YR2/1.5 又は類似色）
- 8-5 材質 外装ケース：メーカー標準（鋼板製等）
- 8-6 形状 屋外ポール自立型（防滴構造以上）